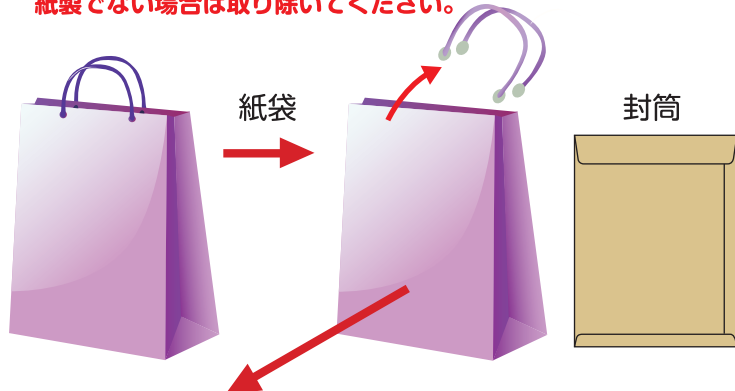


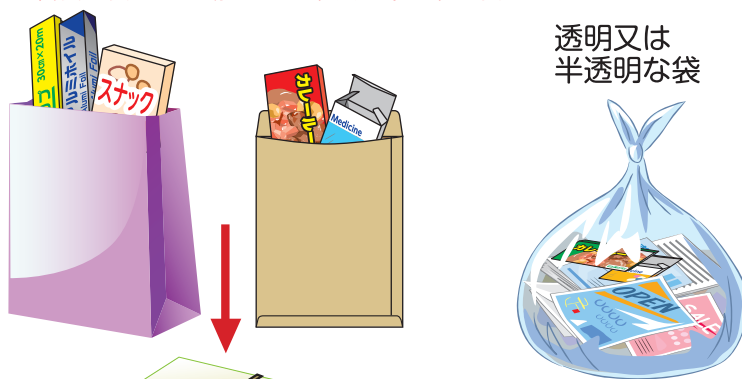
雑がみ用の指定ごみ袋はありません。紙袋、封筒、透明又は半透明な袋などに入れて出します。

《雑がみの出し方》

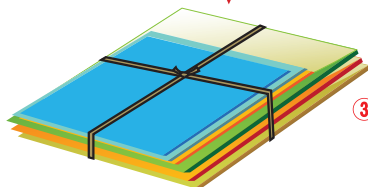
①「雑がみ」を紙袋や封筒に入れて出す場合、紙袋の持ち手が紙製でない場合は取り除いてください。



②紙袋や封筒に「雑がみ」を入れる。
紙製の袋がない場合は、透明又は半透明な袋に入れる。



③紙袋や封筒から「雑がみ」が飛び出さないよう、ひもで縛ってください。



【雑がみの出し方】

- ①紙袋や封筒に入れた雑がみが、飛び出さないようにひもで縛ってください。
- ②箱類は平らにたたんで袋に入れてください。
- ③紙袋や封筒がない場合は、透明又は半透明な袋に入れてください。

注意点

- ▶縛るひもは紙製が最適ですが、紙製のひもがない場合は、ビニール製のひもでもかまいません。(ガムテープは使用しないでください。)
- ▶住所・氏名等個人情報が書いている物の取扱いには注意をしてください。

【古紙類の出し方】

- 資源ごみの日(各地区月1回)に出してください。
- 町内会等で集団資源回収を行っている地域は、引き続きご利用ください。
- 古紙類は、5種類に分類して出してください。
- 指定のごみ袋はありません。ひもで縛るか透明又は半透明な袋に入れてください。
- 段ボール箱に入れて出さないでください。

種類	同じ袋に入れる又は束ねて良いもの	
①	雑がみ	④ 雑誌、書籍
②	段ボール	⑤ 紙パック
③	新聞、チラシ	